訴　　　　　　状

令和元年○○月○○日

○○簡易裁判所　御中

原　　　　　　　　告　　　　山　　田　　太　　郎　印

〒111-1111　○○市○○町１－２－３４（送達場所）

　　　　　　　　　　原　　　　 　　　 告　　　　山　　田　　太　　郎

電話番号　０１１－１１１－１１１１

Ｆ Ａ Ｘ　０１１－１１１－１１１２

〒111-1112　○○市○○町２－２－２２

　　　　　　　　 　 被　　　　　　　　告 　　株 式 会 社 川 畑 屋

上記代表者代表取締役　　　　川　　畑　　次　　郎

〒111-1113　○○市○○町３－３３

　　　　　　　　 　 被　　　　　　　　告 　　川　　畑　　次　　郎

貸金返還請求事件

訴訟物の価額　　　　金１００万円

 　　金１万円

１　被告らは、原告に対し、連帯して、金１００万円及びこれに対する令和元年５月１０日から支払済みまで年６％の割合による金員を支払え。

２　訴訟費用は被告らの負担とする。

との判決並びに仮執行宣言を求める。

１　被告株式会社川畑屋（以下「被告会社」という）は、食品の製造及び販売を目的とする株式会社である（甲１）。

　　被告川畑次郎は、被告会社の代表取締役である。

２　原告は、平成３１年１月１１日、被告会社に対し、弁済期日を令和元年５月９日と定め、金３００万円を貸し付けた（以下「本件貸付」という。甲２）。

３　被告川畑次郎は、本件貸付に際し、平成３１年１月１１日付金銭消費貸借契約書に連帯保証人として署名捺印し、連帯保証契約を締結した（甲２）。

４　しかし、被告らは、上記弁済期日を経過しても、貸付金の返済をしない。

５　よって、原告は、被告らに対し、本件貸付金の返還及び連帯保証契約に基づく連帯保証債務の履行並びに商事法定利息として、請求の趣旨記載の金員の支払いを求める。

証　拠　方　法

甲第１号証　履歴事項全部証明書

甲第２号証　金銭消費貸借契約書

付　属　書　類

１　訴状副本　　　　　　　　　　　　２通

２　資格証明書 １通

３　甲各号証の写し　　　　　　　　各３通

４　証拠説明書　　　　　　　　　　　３通